

大規模小売店舗の届出について市町村から聴取した意見に関する公告

大規模小売店舗立地法（平成10年法律第91号。以下「法」という。）第8条第1項の規定により鹿児島市長から次のとおり意見を聴取したので、当該意見を令和3年12月17日から1月間、鹿児島県商工労働水産部商工政策課において縦覧に供する。

令和3年12月17日

鹿児島県知事 塩田康一

- 1 意見の対象となった大規模小売店舗の名称及び所在地
（仮称）ドラッグコスモス松元店
鹿児島市石谷町1260番5 外
- 2 意見の対象となった届出及び届出年月日
法第5条第1項の規定による届出事項の新設に関する届出
令和3年4月30日
- 3 意見の概要
 - (1) 交通関係について
 - ア 従業員や店舗利用者に対し、公共交通を周知するとともに、その利用を促すよう努めること。
 - イ 店舗の新設にあたっては、来店者をはじめ周辺地域を通行する歩行者等の交通安全の確保や付近道路交通への支障回避など、交通安全対策に万全を期すこと。
 - (2) 駐車・駐輪場について
 - ア 路外駐車場の設置にあたり、駐車場法第11条及び第12条に該当する場合は必要な手続きを行うこと。
 - イ 駐輪場、自動二輪車駐車場の案内看板を設置し、利用者への周知を図ること。
 - ウ 駐輪場には施錠バーを設置するなど、盗難防止対策に努めること。
 - エ 駐輪場、自動二輪車駐車場については、防護柵、車止め等を設置するなど、自動車の駐車区画と明確に区別して、利用者の安全性の確保を図ること。
 - オ 利用車両が収容できない場合には、別途確保すること。
 - (3) 環境保全（騒音・廃棄物等）について
 - ア 次の事項を検討し、環境保全・公害防止のための対策をとること。
 - (ア) 鹿児島市環境保全条例の特定施設（定格出力が5.5kW以上の圧縮機等）を設置する場合は必要な届出を設置30日前までに行うこと。
 - (イ) 特定工場等に該当する場合、規制基準を遵守すること。規制基準を超えていることが判明した場合は規制基準を遵守できるよう追加で対策を講じること。
 - (ウ) 自動車の駐車の用に供する面積が500㎡以上となる場合は鹿児島市環境保全条例に基づき、看板、書面等により利用者にアイドリング・ストップを行うよう周知すること。
 - (エ) 店舗周辺住民等から騒音、振動および悪臭などに関する苦情の申し立てがあったと

きは、誠意をもって対処すること。

(ウ) 敷地内緑化にあたっては、特定外来生物、未判定外来生物は使用しないこと。また、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」掲載種の種子は使用しないなど周辺の植生に配慮すること。

イ 一般廃棄物と産業廃棄物の区分、分別を徹底し、排出抑制とリサイクルに努めること。

ウ 一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬、処分の委託にあたっては、廃棄物処理業の許可の有無、委託する廃棄物が事業範囲に含まれているかを確認して委託すること。古紙類や産業廃棄物については、鹿児島市の施設では処理できないので注意すること。

エ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係法令に基づく報告を行うとともに、事業活動に伴い多量（月平均500kg以上）の一般廃棄物を排出する場合は、鹿児島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・規則に基づき一般廃棄物の減量に関する計画書を作成すること。

オ 防犯、騒音対策等も含めた良好な生活環境の保持についても十分な対策を講ずること。

(4) 都市計画について

当該地は、以下の区域等に該当している。

ア 都市計画においては「松元都市計画区域」、「特定用途制限地域（田園居住環境保全地区幹線道路沿道型）」「地区計画（石谷町伏野・堤ヶ迫地区）」に指定されている。地区計画については、建築物の新築等を行う場合は、着手の30日前までに届出を要するが、当該建築物については、令和3年5月7日付で既に届出済みである。

イ かがしまコンパクトなまちづくりプランにおいては「居住誘導区域内」、「都市機能誘導区域（集落核）内」に該当している。

(5) 景観について

ア 本市景観条例に定める一定規模を超える建築物の建築等の行為を行う場合は、届出対象行為となることから都市景観課と事前に協議を行うこと。

イ 屋外広告物を掲出する場合には、本市屋外広告物条例を遵守し、許可を受ける必要がある場合には遅滞なく所定の手続きを行うこと。

(6) 建物について

建築基準法及び関係規定を遵守すること。

(7) その他

ア 当該地に関して、事前に開発宅造相談書が提出されており、開発許可等は不要である旨回答済。（2-南-82）

イ 所有し、占有し、又は管理する土地、建物、工作物その他資機材等について、地域住民等の安全に十分配慮し、適正に管理するとともに、工事中においても防災対策等も含めた良好な生活環境の保持についても十分な対策を講ずること。